

## 2 目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに次のステップへ向けて取り組む目標を職員一同で話し合いながら作成します。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

| 【目標達成計画】 |            |  |   |  |            |
|----------|------------|--|---|--|------------|
| 優先順位     | 項目番号       | 現状における問題点、課題   | 目標  | 目標達成に向けた具体的な取り組み内容   | 目標達成に要する期間 |
| 1        | 35<br>(13) | 夜間を想定した避難訓練は行われているが、明るい時間帯なので、より夜間に近いよう時間帯・時期の検討を図り、足元や誘導時の問題点を把握していく。 | 夜間一名の職員での対応を想定し、足元・声掛け等、より具体的にを行うことで、注意すべき点を把握していく。 | 27年度は時期・時間を検討し、一人の職員が地区住民の協力を得て、より夜間に近い状態で避難訓練に取り組む。   | 1年間        |
| 2        | 2<br>(2)   | お茶っこ飲み会や野菜をいただいたりと地域と交流はしているが、利用者からも出かけたり、地域に役立つことはないか考えていきたい。         | 地域の方との交流を図っているが、受け身だけではなく、利用者からも協力できることはないか検討してみる。  | 散歩の際にゴミ拾いや草取りなど、無理のない範囲で地域に協力できることはないか、地域の方と話し合う機会を持つ。また、地区公民館で子供たちとの交流や認知症を理解していただくための交流会を継続していく。 | 1年間        |
| 3        | 10<br>(6)  | 家族の来所や家族会等の行事参加はあるが、介護計画の家族からの要望等が出ない。本音を語れる場、雰囲気不足ではないか。              | いいことばかりではなく、それぞれが本音を語れる雰囲気大切。その中から最良の援助をしていく。       | 来所時には現状の状態説明の時間を作ってもらい、話し合う体制を作れるようにする。家族の本音・要望を聞き出せるような雰囲気作りに努めたい。                                | 1年間        |
| 4        |            |  |   |  |            |
| 5        |            |  |   |  |            |

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。